

会社名：

石黒商事 株式会社

小売業者

概要・事業内容・商品：

【会社概要】

本社：岐阜県土岐市泉町久尻 245-6

創業：昭和3年

設立：昭和32年6月26日

資本金：2,400万円

従業員：正社員67名

代表者：代表取締役 石黒信彦

事業内容：

- ・SS（ガソリンスタンド）の運営
- ・産業用燃料（LPガス、重油類）、家庭用燃料（LPガス、石油製品）の販売
- ・太陽光発電システム、オール電化機器等設備機器の販売
- ・住宅設備関連工事、リフォーム工事
- ・土岐市に「コメダ珈琲」を2店舗展開
- ・土岐市、多治見市、瑞浪市、恵那市に「カーブス」を4店舗展開
- ・不動産事業

概況：燃料の販売という既存事業を軸に、様々な事業に取り組むためM&Aを実行したことによって、客数が大幅に拡大し、平成26年には売上46億円を超えた。

【事業の多角化】

平成19年、創業80周年を迎えるにあたり、経営ビジョンを明確にするため、社長様は東京へ経営の勉強に出掛けられた。そして出来上がった「事業発展計画書」。

会社というものは「社員とその家族が幸せになるもの」「地域社会の役に立つもの」でなくてはならない！ その強い揺るぎない思いから、会社を発展させるためにも、本業の延長線上での新しい業態にも参入されている。エネルギー関連として太陽光発電やリフォーム事業、地域の人々の役に立つ、地域活性化のためにもコメダ珈琲やカーブスなどフランチャイズの経営もされている。

【イメージキャラクター「くろちゃん」】



- ・元気なエネルギーを（笑顔とまごころ）でみなさんにお届けし、豊かで幸せな生活が送れることを願い、いつもみなさんの周りを飛び続けている、ミツバチの子供。
- ・石黒商事のHP上にはブログもあり、石黒商事の活動をお知らせしている。



経営理念：

みんなで、地域社会、お客様から、強く必要とされる
「魅力NO. 1（オンリーワン）」の企業、人財をめざします！

地域社会への取り組み：

■東北復興を願って「東北復興市」「土岐さんま祭り」

東日本大震災以後、感謝祭で「東北復興市」を行ったり、土岐市駅前で「土岐さんま祭り」を行っている。それは、震災の年の8月に社長様とご長男が、社長様の大学の先輩である佐藤昌市さん（南三陸町志津川町出身）を訪ね、大変な災害状況下にある登米市・南三陸町・気仙沼市を案内していただいた中で、何をやっていいのかわからない、その答えが見つかり、それが感謝祭で登米市観光物産協会が行う「東北復興市」であり、土岐市の有志が行う「土岐さんま祭り」だったとのことである。

2014年からは、さんま祭りが独立して土岐市のお祭り（土岐市中心市街地活性化協議会主催）になった。大変な賑わいである。

■土岐市駅前活性化のためにオープン！！

「コメダ珈琲」（平成23年）、「土岐ルネッサンスまちの駅」（平成25年）

駅前にコメダ珈琲をオープン。コメダ珈琲本部からは「駐車場もない駅前では経営が成り立たないから出店の許可はできません」とまで言われた。しかし「赤字は覚悟の上。駅前にブランド力のあるコメダ珈琲を出店して、市民の憩いの場としたい」。

まちの駅も「駅前に気軽に美濃焼が買える場所を！東北復興支援の場所を！」とオープン。

しかしどちらのオープンも根底にあるのは、社長様の強い思い。それは

「土岐市駅は土岐市の顔。その“顔”が寂びれているようじゃダメ！なんとかしたい」という……。

社長様からのメッセージ：

若い人には、是非地元で働いてもらいたい、そう思う。そのためには、魅力ある街であり、魅力ある会社でなくてはならない。私は魅力ある街づくり、魅力ある会社づくりをし続けていく。

そして、全従業員が『商人』としての責任とやりがいを持って自分の仕事に取り組むことが出来るようにしたい。働くことはお金を儲けることではない。新入社員にも『商人』として、経営者感覚を持ち、お客様に喜んでもらう仕事をする、そこにやりがいと生きがいを感じる、それが自分の成長につながることを、実感してほしい。まさに、“近江商人の三方よし”の考えである。“売り手よし、買い手よし、世間よし”。

土岐市、特に土岐市駅前が賑わいを取り戻すような活動を今後も続けながら、社員が幸せになる会社であり続けたいと思っている。

